

テーマ「自らの顔に責任を持つ」

人にはその人独特の雰囲気があり、近頃ではオーラと呼ばれているが、その人の内面を醸し出す目に見えないが、確かに感じるものが人にはある。アメリカ大統領であったリンカーンは、40歳過ぎれば自分の顔に責任を持つとの名言を残しているが、人の顔や雰囲気は、自らが長い年月をかけて作り出したものであることを端的に語った言葉である。

今日何を思い、どう行動したか、その積み重ねがその人の雰囲気・オーラとなる。人に対して温かな思いを持って行動している人は優しい雰囲気になり、人を責める思いが強い人はきつい雰囲気を出すようになり、自分を責める思いが強い人は暗い雰囲気になり、世の中に不平・不満を持っている人は、不満そうな雰囲気を醸し出してくる。人の思いと行動がその人の雰囲気や顔を作り出すのである。

自分はどうかろう。常に鏡に映る己の姿を見て、己の心をチェックしていきたいものである。気づいて直すことで、自分の顔と雰囲気を変えていける。徳性は天性ではない努力の賜物である。努力を怠らず自分の顔に責任を持てる人生を歩みたいものである。